コテライザー１５０　オート

取扱説明書

世界が認めた国際特許/U.S.PAT.4.500.027
JAPAN.PAT.1236726

警告　ご使用前に必ずお読みください。

このたびはコテライザー１５０オートをお買い上げいただき誠に有難うございます。本品はブタンガスを使用した熱器具です。怪我や事故を防止するため、使用方法、事項を良く読んで理解してから使用してください。また、この取扱説明書は必ず、保存してください。

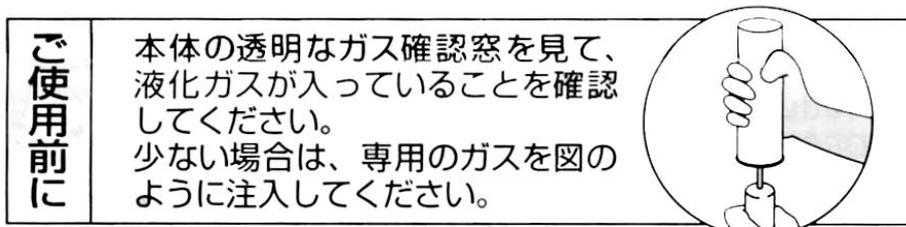
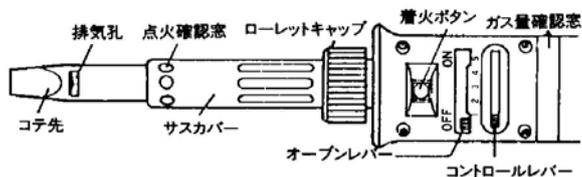
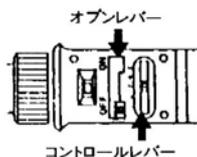
ご使用上の注意

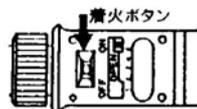
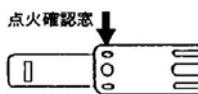
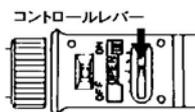
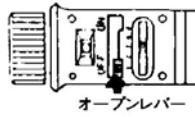
① ガス注入は火気のある所では行わないでください。
② 換気の悪い場所では、使用しないでください。
③ 電気ゴテ用の筒型コテ置台を使用しないでください。熱がこもり、ハンドルを焦がし火災の原因になります。
④ あやまって落としたり、ぶつけたりして強いショックを与えた場合は製造元サービスセンターに御相談ください。
⑤ 燃料には必ず当社の純正ガス（工業用無臭液化ブタンガス）を使用してください。
⑥ 作業の中断または、使用後は確実にガスを止めてください。
⑦ 使用中に燃焼部分や高温金具等に手や身体を触れないでください。
⑧ 燃焼部分に水をかけないでください。
⑨ 勝手に分解や改造をしたり、当社以外の部品を装着しないでください。
⑩ アルコールやアルコールベースのクリーナーでガス確認窓を拭かないでください。

保管上の注意

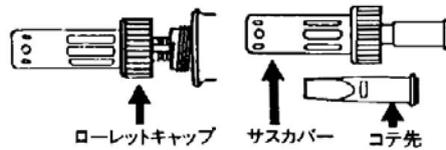
① ４０℃以上の所や直射日光のあたる場所には置かないでください。
② 車中での保管、特にフロントガラス等の窓のそば及びトランクルーム内の保管はおやめください。ガス圧が高くなり、火災・爆発の原因になります。
③ 幼児の手の届かない所に保管してください。
④ コテ先及びホットブローが冷えたのを確認して収納してください。

ご使用前に

本体の透明なガス確認窓を見て、液化ガスが入っていることを確認してください。
少ない場合は、専用のガスを図のように注入してください。

半田ゴテとして使う場合

① 図のように、排気孔と着火ボタンを同一の向きにして使用します。
排気孔からは熱風が出ますので、身体や物が触れないよう注意してください。

② コントロールレバーを３の位置に合わせてください。
ただし
● 暑い時期/場所：コントロールレバー３から左側に
○ 寒い時期/場所：ガス注入直後はコントロールレバー３から右側に動かして調節してください。

③ オープンレバーをＯＮの位置にしてください。

④ 着火ボタンをゆっくり押し、カチッと押しきったまま３秒押し続けてください。
（最初にゆっくり押さないと着火しません。）

⑤ ３秒後に触媒が赤く反応しましたら指をゆっくり離してください。点火しない場合は繰り返してください。
（触媒が反応すると点火確認窓が赤くなります。）

⑥ コテ先の温度は、ガスのコントロールレバーで調節します。

⑦ 消すときは、ガスのオープンレバーをＯＦＦにします。

㊟（コントロールレバーではガスは止まりません。）

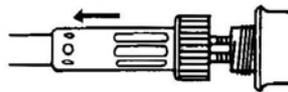
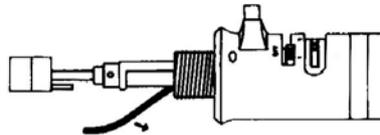
ホットブロー（熱風器）として使う場合

ハンドル上部のローレットキャップを左にまわし、サスカバーと共にコテ先をはずします。サスカバーにホットブローチップを取り付けると熱風器になります。操作方法は半田ゴテと同じです。サスカバーを取り外すとき、中の圧電リード線を切らぬように注意してください。

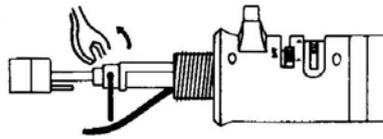
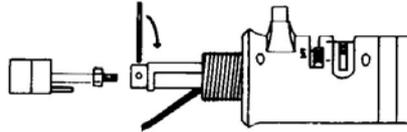
また先端から熱風が出ますので身体や物が触れないよう注意してください。

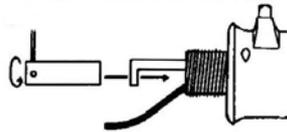
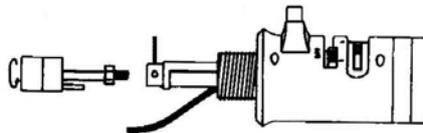
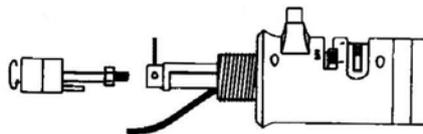
火口ユニット・エゼクターを交換する場合

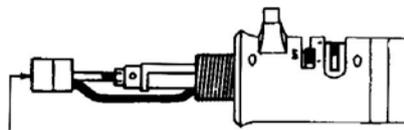
ガスがつまった時やセラミックが破損した時には、エゼクターユニットを交換します。

＜取りはずし方法＞

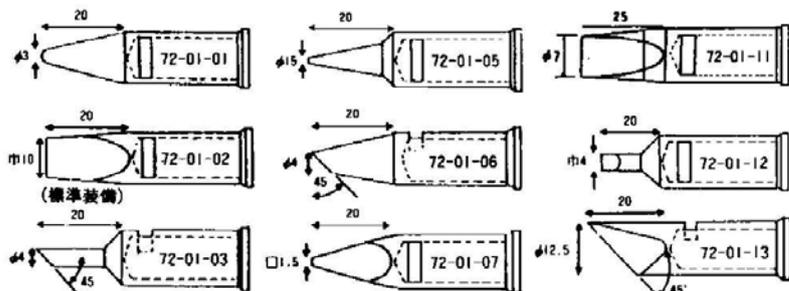
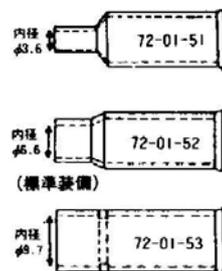
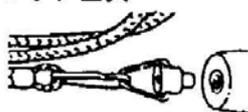
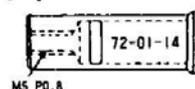
① ローレットキャップを右にまわして、コテ先をはずしてください。

② リード線を持って、ゆっくり横に引き絶縁チューブからリード線を引き抜きます。

③ エゼクターの穴に棒スパナを差し込んだまま、六角スパナを右にまわして上部の火口ユニットをはずします。

（白い部分はセラミックのため取り扱いに注意してください。）

④ 付属の棒スパナを穴に差し込み右にまわすとエゼクターが、はずれます。

＜組み立て方法＞

① 新しいエゼクターを元の位置に差し込み、付属の棒スパナで軽く締めてください。

② エゼクターに付属の棒スパナを差し込み左にまわしながら止まるところまで軽く締め込んでください。

③ エゼクターの穴に棒スパナを差し込んだまま、火口ユニットのナットを六角スパナで、左にまわし軽く締め込んでください。

（点火プラグはリード線と一直線になるようにしてください。）

④ リード線を絶縁チューブに入れ、しっかり差し込んでください。
（着火ボタンを数回押して点火プラグから火花が出ることを確認してください。）

こんな時どうする？

状　態	原　因	処　理
着火しない。	①　ガスが入っていない。 ②　エゼクターのノズル孔がつまっている。 ③　ガスの吐出量が多すぎる又は少なすぎる。 ④　着火ボタンを早くはなしすぎる。 ⑤　点火プラグの寿命。	①　ガスを注入してください。 ②　新しいエゼクターと交換してください。 ③　コントロールレバーでガスの吐出量を調節してください。 ④　本書「半田ゴテとして使う場合」をもう一度お読みください。 ⑤　新しい火口ユニットと交換してください。
炎が消えない。	①　着火ボタンを離してもゴーという音がしているときは炎が消えていないときです。	①　もう一度着火ボタンをゆっくり押し、ゆっくり離してください。
コテ先またはホットブローの温度が上がらない。	①　触媒の寿命。 ②　ガスの量が少ない。 ③　エゼクターの内部に異物が付着している。	①　新しいコテ先またはホットブローと交換してください。 ②　ガスを注入してください。 ③　新しいエゼクターユニットと交換してください。

オプションパーツ

NAKAJIMA

中島銅工株式会社

上福岡本社工場　〒356-0035　埼玉県ふじみ野市丸山10-1
TEL.049 (261) 1693　FAX.049 (262) 5421

嵐山工場　〒355-0225　埼玉県比企郡嵐山町鎌形683
TEL.0493 (62) 7295　FAX.0493 (62) 3895

液化ガス事業部サービスセンター

http://www.nakajimadoko.co.jp
E-mail：gas-info@nakajimadoko.co.jp